

平成17年12月21日

中央社会保険医療協議会
会長 土田 武史 殿

中央社会保険医療協議会委員

松	原	謙	二
青	木	重	孝
野	中	博	
石	井	暎	禧
邊	見	公	雄
黒	崎	紀	正
登	利	俊	彦
山	本	信	夫

国民により良い医療を提供するための 診療報酬適正評価に関する要望事項

〔医 科〕

I 基本的考え方

1. 全ての国民が安心して良い医療が受けられる体制を確保すること
2. 医療の安全確保と質の向上ができる制度であること
3. 医学・医療の進歩に見合った制度であること
4. 「もの」と「技術」の分離及び技術評価を重視すること
5. 医療機関の安定的経営を保障するものであること
6. 国民が理解できる診療報酬体系であること

II 具体的検討事項

1. 医療の安全確保

- (1) 医療の安全確保のための人件費評価
- (2) 医療の安全管理・院内感染対策等の評価
- (3) 感染症や危険物等ハイリスクの廃棄物処理に対する評価
(感染性廃棄物、X線フィルム処理廃液、ディスポ用品等)

2. 適正な技術料評価の診療報酬体系の確立

- (1) 医師の基本技術に対する適正評価
- (2) 各診療科固有の専門技術に対する適正評価
(リハビリテーション等の月内逓減制・算定制限、処置点数、検査点数、画像診断等の不合理見直し等)
- (3) 現行の技術評価算定方式の不合理是正
(「もの」と「技術」の包括化の撤廃)
- (4) 手術に係る施設基準廃止とその他の施設基準の是正
- (5) 減算方式の廃止
- (6) 同時実施手術の評価
- (7) その他必要事項

3. 医療機関機能の明確化及び有機的連携の強化に対する診療報酬上の対応

- (1) 特定機能病院・地域医療支援病院の診療報酬の再検討
- (2) D P Cの諸問題の改善
- (3) 療養病床の診療報酬の再検討
- (4) 診療情報提供料の簡素化と評価の確立
- (5) 有床診療所の位置づけの明確化及び適切な評価
- (6) 病院の外来専用診療所（門前診療所）における問題の解決
- (7) その他必要事項

4. 地域医療の推進と積極的評価

- (1) 在宅患者に対する総合的医学管理の適正評価
- (2) 訪問診療、訪問看護の適正評価と制限の撤廃
- (3) 在宅患者の終末期医療に対する医学管理の適正評価
- (4) かかりつけ医機能の積極的評価と紹介外来の評価
- (5) 往診に対する適正評価
- (6) その他必要事項

5. 医業経営基盤の安定確保等

- (1) 医療機関の設備投資・維持管理費用に対する評価
- (2) 入院部門における医業経営基盤の安定確保
- (3) 入院中の患者の他医療機関への受診の適正評価
- (4) 不採算診療項目の適正評価
- (5) コメディカル人件費の診療報酬への適正な組み入れ
- (6) その他必要事項

6. 国民に理解できる診療報酬体系

- (1) 逡減制・減算制の廃止
- (2) 同一医療機関における複数科受診の評価
- (3) 「指導料」の名称を「管理料」に変更すること
- (4) その他必要事項

7. 小児医療・産科医療等への対応

- (1) 小児医療の評価及び乳幼児医療を重視する診療報酬上の配慮と義務教育期間の負担率の検討
- (2) 救急医療の評価
- (3) 産科医療の提供体制の確保のための診療報酬上の評価

8. その他

- (1) 救急医療の評価
- (2) 重度の認知症対策への評価
- (3) 生活習慣病指導管理料の見直し
- (4) 処方料と処方せん料の評価
- (5) 長期投薬に伴う管理の評価と超長期投薬の是正
- (6) 急性期、回復期、維持期リハビリテーションの再評価
- (7) 褥瘡対策、診療録管理、栄養支援チーム管理の評価
- (8) ドクターフィーとしての病理組織診断の評価
- (9) 医療材料価格の適正化
- (10) 特定療養費制度の適正化
- (11) 公私医療機関の経営基盤の違いを配慮
- (12) 診療報酬点数表の整理並びに請求事務の簡素化

- (13) 指導大綱及び療養担当規則等の見直し
- (14) 届出等が必要な算定要件の見直し
- (15) 改定時における点数表の早期告示と周知期間の確保
- (16) その他必要事項

〔歯 科〕

I 基本的考え方

1. 患者の視点を重視した歯科医療の推進
2. 患者に分かりやすい歯科診療報酬体系の構築
3. 全ての国民が等しく安心して受けられる医療体制の確立
4. 医療安全対策と歯科医療の質の確保・向上
5. 地域医療としての連携を重視した「かかりつけ歯科医」機能の推進・充実
6. 歯科医院経営基盤の安定確保

II 具体的検討事項

1. 生涯を通じた口腔機能の維持・増進を図るための「かかりつけ歯科医」機能の推進・充実
 - (1) 患者の視点を重視した情報提供等の充実・評価
 - (2) 歯科診療所と病院歯科における機能や連携に応じた評価
 - (3) 高齢者・障害者・全身疾患を有する患者に対する医科・歯科連携のさらなる推進
 - (4) 小児歯科疾患に対する救急対応の評価
 - (5) その他必要事項
2. 地域医療との連携を重視した在宅歯科医療等の充実
 - (1) 「かかりつけ歯科医」機能及び病診連携に基づく在宅歯科医療の評価
 - (2) 高齢者の口腔機能の維持・増進によるADL改善、QOL向上の観点を踏まえた在宅歯科医療の充実と質の向上
 - (3) その他必要事項
3. 重症化予防技術の充実
 - (1) 齲蝕や歯周疾患等の継続的な維持管理の充実・評価
 - (2) 歯冠修復及び欠損補綴の継続的な維持管理の評価
 - (3) その他必要事項

4. 「もの」と「技術」の分離と適正な技術評価

- (1) 適正な技術評価算定方式の確立
- (2) 歯科固有の技術に対する適正評価
- (3) その他必要事項

5. 医療安全対策と歯科医療の質の確保・向上

- (1) 歯科医療における感染防止対策への評価
- (2) 医療廃棄物等の処理に対する評価
- (3) その他必要事項

6. その他

- (1) 請求事務の簡素化
- (2) 医療従事者業務の適正評価
- (3) その他必要事項

〔調 剤〕

<保険薬局における調剤報酬関係>

I 基本的考え方

1. 患者に分かりやすい調剤報酬体系の確立
2. かかりつけ薬剤師の役割の評価
3. 患者ニーズに対応した技術の評価
4. 医薬品適正使用の推進

II 具体的検討事項

1. かかりつけ薬剤師の役割を踏まえた指導管理・情報提供の推進
2. 患者にとって必要な薬剤情報提供の推進（お薬手帳の活用、後発医薬品に関する情報提供）
3. 療養環境に応じた在宅医療の推進
4. 医療安全対策やIT化の推進を踏まえた保険薬局の機能の評価
5. 難易度や手間に応じた調剤技術等の評価
6. 保険薬局の役割を踏まえた調剤基本料の区分の簡素化
7. 調剤内容に応じた調剤料の適正化
8. その他必要事項

<病院・診療所における薬剤師業務関係>

I 基本的考え方

1. 薬物療法における患者の安全確保の評価
2. 病院・診療所薬剤師の役割の適正評価
3. 医薬品適正使用の推進

II 具体的検討事項

1. 抗悪性腫瘍剤に係る無菌製剤処理技術の評価
2. 医療現場のニーズに対応した院内製剤技術の評価
3. 褥瘡対策及び緩和ケア等のチーム医療における薬剤師の配置の明確化
4. がん化学療法に係る薬剤管理指導の評価
5. その他必要事項